

### ■カナダ：オンタリオ独立系統運用者（IESO）でネガティブプライス

地元紙は 2011 年 1 月 11 日、オンタリオ州独立系統運用者（IESO）管内で卸電気料金がマイナスになる「ネガティブプライス」と呼ばれる現象が深刻であると伝えた。報道によると 2011 年 1 月 1 日の卸電力価格は終日ネガティブとなっており、平均電力価格は-20.29[カナダドル/MWh]（注：2011 年 1 月現在、1 カナダドル=84.1 円で換算すると日本円で約 1,707 円）、平均電力価格として過去最低記録を更新している。このため、IESO では元旦の 1 日だけで総額 146 万カナダドル（日本円で約 1 億 2 千万円）を支払い、余剰電力を米国に引き取ってもらうオペレーションを実施している。オンタリオ州管内でネガティブプライスが発生すると、州民は安い電気料金で恩恵を受けると考える人もいるが、実際にはこのネガティブプライスで垂れ流した損失は全体調整料金（Global Adjustment Charge）というサーチャージで回収されるため、電気料金としては結局値上げになってしまう。IESO によると、オンタリオ州では平均卸電力価格が 3.79[カナダドルセント/kWh]（約 3.2 円/kWh）であったのに対し、サーチャージは昨年平均で 2.73[カナダドルセント/kWh]（約 2.3 円/kWh）であった。全体調整料金は年間を通じて変動するため、時間帯によってはこの卸電力価格を上回ることもあるという。カナダから米国に国境を越えて垂れ流される電力について、2010 年 12 月の 1 ヶ月合計で 5,280 万カナダドル（日本円で約 44 億円）の損失になっているとも言われている。